

徳島県徳島市

SDGsのGoal3「健康と福祉」への貢献 地域経済と連携した産業クラスターの構築

高圧ガス全般（医療用・産業用・家庭用）製造及び販売を行っている。1952年の創業から時代に合せて顧客のニーズに対応し、事業拡大と品質向上を図り、幅広い商品の製造・供給から関連装置を含めたシステム提案まで、トータルガスカンパニーとして展開している。また、海外展開及び途上国における医療体制構築への貢献を目指し、ミャンマーで現地法人を設立、製造工場を稼働し、東南アジアを中心とした事業拡大を行っている。

●所在地 徳島県徳島市東沖洲2丁目18

●設立 1952年

●電話/FAX 088-664-2811/088-664-2854

●資本金 4,500万円

●URL <http://www.kitajima-sanso.com>

●従業員数 30人

●代表者 代表取締役社長 篠原 宏子



需要獲得

SDGsGoal3「健康と福祉」 達成貢献に向けたミャンマーでの展開

ミャンマーにおいて高品質な医療用酸素ガスを安全・安定的に供給するシステム構築を目指し、JICAの普及・実証事業を実施。2018年に現地法人を設立、2019年には同国初の医療用酸素に特化した工場を開設。衛生・安全基準を満たした酸素ガスや容器の品質管理、工場から病院までの安全配送・安定供給、IoTを活用した高信頼なシステムを導入。また、ミャンマー保健省とともにこれまで同国になかった医療ガスマニュアルの作成など、SDGsのGoal3「健康と福祉」達成への貢献に向けて取組み中。



ミャンマー現地法人社屋

地域経済と連携した産業クラスターの構築

徳島県で唯一の自社クリーンルームで酸素充填を行い、徳島県における流通販売量の約8割の医療酸素を供給、地域医療分野に大きく貢献している。また、海外展開実施により、運送・海運、通関、金融、医療コンサルタント、医療機器メーカーなど同社の海外進出に直接ないしは間接的に関わる徳島県の企業とともに同社を中心とした産業クラスターが構築されている。既に運送・海運、通関、金融、高圧ガス、高圧ガス関連機器の企業と取引を進めており、今後更に事業規模が拡大していく見込。



北島酸素 土成工場

ミャンマーの現状にフィットした医療用酸素アウトレットの開発

医療用酸素アウトレット製造メーカーと共同で、ミャンマー市場に合わせた価格、現地医療機関スタッフの技能に合わせた使いやすさ、現地仕様環境に合わせた頑丈さ等、ミャンマーの現状にフィットしたKITAJIMAブランドのアウトレットを開発。また、病院業務と病院経営の改善を行い、製品だけでなく持続的なシステムも併せて提供することで大きな付加価値を生み出している。この取組により、ミャンマーの医療機関では従来より高度な製品・サービスを提供することが可能となっている。



ミャンマーの病院にて安全使用の実施教育

ものづくり